

2023年度 日本工学院専門学校											
コンサート・イベント科 1年次											
イベント・メディア業界研究1											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	南澤 薫			実務 経験	有	職種	ディスクジョッキー				
担当教員紹介											
30年以上、大手レコード会社のA&Rで数々の有名海外アーティストの担当。そこで培った音楽知識をもとに、ディスクジョッキーとしてラジオ番組にも多数出演。レギュラー出演の番組も継続中。幅広いジャンル、年代をカバーできているからこそ、今流行している音楽の成り立ちやルーツを様々な切り口で解説できる。											
授業概要											
若いうちに聴くべき幅広い音楽ジャンルを歴史を紐解きながら紹介し、現代のJ-POPに繋がるプロセスを理解する。音楽への興味を深めるべく毎回既存の音楽素材を紹介し、その音源に繋がるルーツを探る。サウンドの種別を理解することにより一流の音楽家とも渡り合えることを理解させ、自発的に新しい音源を模索できるよう、音楽を聴くことの楽しさを伝えていく。現代の音楽が過去の音楽からどのようなつながりを得て構成されているかを解説することにより、楽曲に取り入れられたリズムやコード進行がどういった意図で組み込まれたものなのかを理解していく。作品研究を行うことを学習目的とする。											
到達目標											
世界のポピュラーミュージックの歴史を習得して、音楽業界に通用する人材へと育成する。およそ60年のポピュラーミュージックの歴史を大局的・俯瞰的に説明する。学生の関心が高い音源がどのように成り立ったかを解説し、音楽の深い部分を追求できるような業界のプロとなる。また様々な楽曲に触れることにより興味を持てるジャンルを増やし、学生の音楽に対する視野を広げること目標のひとつである。視覚的にだけでなく聴覚的に音楽と向き合うことにより、より研ぎ澄まされた感覚で音楽と向き合うことができる。すべての楽曲にルーツが存在することを理解し、自発的に作品研究ができるよう、音楽に対する意識を高める。											
授業方法											
この講義では主に音源試聴を軸とし、講師の説明と現実がリンクする内容を提供する。コンサート・イベント科の学生は興味のあるアーティストに携わる仕事を望む傾向にあるため、興味や関心の幅を広げることによって就職先の視野も広げる。この講義を経て学習内容をふまえて音楽の歴史に精通する人材となる。											
成績評価方法											
筆記試験 100% 前期終了時に実施する前期試験で音楽に仕事として携わるために必要な知識やポキャブラリーが身に付いているかを確認。											
履修上の注意											
主に板書と配布する資料を中心に講義を進めていくが、大人数での講義のため質問がしづらい可能性がある。そのため、講義の最後には質疑応答の時間を設け、学生の理解不足を解消するようにする。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
教科書はなし、必要に応じてレジュメを配布する。授業計画とともに、実際に授業を実施するときに話題となっている楽曲やアーティストをカリキュラムに取り入れるタイムリー性も大事な要素である故に、ネットなどのメディアも活用し、臨機応変に授業を展開していく。											
回数	授業計画										
第1回	ポピュラーミュージックの歴史～総論・目的 (CM/シティポップ/ドラマ/ビルボード)										
第2回	ビルボード・チャートの歴史 (ロックエラ) ～記録のあれこれ/各時代のヒット										
第3回	2010年以降～現在までの洋楽シーン—EDM/トラップ/ラテン/ブギー										
第4回	シティポップ・ブームの起源～そもそもシティ・ポップとは?										
第5回	世界を巻き込む“ブギー・ディスコ・ムーブメント”～Jポップとの関連										

2023年度 日本工学院専門学校	
コンサート・イベント科 1年次	
イベント・メディア業界研究1	
第6回	最近のCM/ドラマ/TV等で使用されている洋楽
第7回	ヒップホップの成り立ち/歴史①～誕生からおよそ50年の巨大マーケット
第8回	ヒップホップの成り立ち/歴史②～90年代以降現在まで進化し続ける文化
第9回	ロックの歴史①～ロックンロール誕生からハード・ロックまで
第10回	ロックの歴史②～1970年代ロックからヘヴィ・メタルまで
第11回	最新（2022年）ビルボード・ヒット/地上波テレビで使用された洋楽
第12回	20世紀のスーパースター～ビートルズ/マイケル・ジャクソン/マドンナ/T.スウィフト
第13回	ロックの歴史③～80sハードロック、90sグランジ/UKロック/オルタナティブ
第14回	ソウル・ミュージックの歴史①～ロックンロールからソウルの誕生/60年代
第15回	ソウル・ミュージックの歴史②～ファンク/ディスコ/スウィート・ソウル